コースコード：GX-MicroHardening
税込価格：132,000円 (税抜価格：120,000円)
日数：1日間

ここに注目!!

トレーニングを通じて、サイバー攻撃の手法・攻撃者の狙い・システムに存在する脆弱性を学びます。サイバー攻撃の検知・対処を繰り返し実践することで、対応方法が定着。企業のセキュリティ人材の育成に必要不可欠な「現場の経験」を提供します。

【参考】 マンガでわかるMicro Hardening
サイバー攻撃対応トレーニングMicro Hardening (株式会社川口設計)

【情報処理安全確保支援士 特定講習】
このトレーニングは、情報処理安全確保支援士の特定講習（民間講習）に採用されています。
特定講習としてお申込みされる場合は、以下ご確認いただき、お申し込みください。

(1) 特定講習受講の事前申告について
特定講習として受講するには、お申込み時に事前申告が必要です。
お申込みページにおいて、
・特定講習として申し込むこと
・情報処理安全確保支援士の登録番号
をご記入ください。
もし、事前申告がない場合、講習をご受講いただいても特定講習としての受講修了として認められませんので、ご注意ください。

(2)本人確認について
特定講習は法定講習のため、講習当日に以下の本人確認を行っています。
【講習開始前】
講習開始30分前（9時30分）から受付を行っており、その時にご本人の確認を行います。
以下の2点をご準備し、講習のZoomにログインしてください。(詳細は受講票に記載)
・有効な写真付き身分証明書(運転免許証もしくはパスポートなど)
・情報処理安全確保支援士登録証(写し)または情報処理安全確保支援士登録カード
【講習中】
ご本人がご受講していることを確認するために、講義中は常にカメラをONにした状態でご受講していただきます。

(3)修了条件について
特定講習には修了条件があります。本講習の修了条件は、以下の項目の内容を総合的に判断し、修了を判定します。
・出席率（75%以上の出席が必要）
・演習状況(スコア,積極性, 質問内容等々)

情報処理安全確保支援士特定講習については経済産業省のページを参照ください。
情報処理安全確保支援士特定講習 (経済産業省)

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

・情報システム部門のエンジニア
・CSIRTメンバーやSOC担当者
・セキュリティエンジニアやテクニカルコンサルタント
・公開系システムを開発、運用するエンジニア
・エンジニア職の新入社員

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・インターネットに関する知識
・SSHを使いLinuxのリモートホストに接続し、コマンドを実行できること

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

・被害を受けるパターンとその対策について疑似体験を通して学びます。
・サイバー攻撃発生時の対応方法をインシデン対応の実経験を通して習得することができます。
・インシデント対応に於ける見える化と事前準備の重要性を認識することができます。
・インシデント対応の運用とチームコミュニケーションの重要性を経験を通し理解できます。

アウトライン

【1日の流れ】

事前解説 : ルールと環境について解説します

インシデント対応演習（1セット45分 x 4セット）：様々なサイバー攻撃からECサイトを守り、最大の売上を目指すチーム対抗戦

チームディスカッション

解説＆フィードバック

※休憩回避および講座終了時間は、講座の進行状況により前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。